

1-(1) 「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」の開館について

1. 「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」の開館

- ・2020年の大河ドラマ「麒麟がくる」が、いよいよ1月19日(日)から放送開始。
- ・それに先駆け、今週末1月11日(土)に「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」を開館。

【主な展示内容】

- ・撮影風景や出演者のメイキング映像を4K映像で楽しむ、麒麟がくるドラマシアター
- ・登場人物の紹介、関連図、エピソードなどのパネル展示
- ・ドラマ中で登場する小道具や衣装などを展示
- ・**稲葉山城収録セットの一部再現及び稲葉山城城下町オープンセットのジオラマ展示** 目玉展示
⇒稲葉山城収録セットではリアルな出来栄にドラマのワンシーンを体感 ※フォトスポット
- ・さらに、史実に基づく**岐阜市歴史博物館所蔵品なども展示**することで、
岐阜市ならではの大河ドラマ館として開館

【大河ドラマ館の概要】

- ・開設期間 令和2年1月11日(土) ～ 令和3年1月11日(月・祝) 無休
- ・開館時間 9時00分 ～ 17時00分
- ・入館料 大人(高校生以上)600円 小中学生300円

【われらも麒麟!!!プロジェクト】

岐阜の子どもたちが、岐阜の歴史や文化を学び、岐阜に対する誇り、シビックプライドの醸成を図るため、大河ドラマ館と併せ岐阜市歴史博物館2階で実施

- ・「戦国時代と岐阜」をテーマとしたグラフィックや映像作品の展示
- ・中学生ボランティア → ドラマ館展示解説
- ・高校生ボランティア → 外国語通訳

2. オープニングセレモニーの開催

- ・日時 令和2年1月11日(土) 9時30分から
- ・場所 岐阜市歴史博物館1階 講堂
※テープカットのみ2階への階段前で実施
- ・内容 主催者あいさつ
来賓あいさつ
ゲスト紹介
書家 中塚翠涛(なかつかすいとう)氏
※大河ドラマ「麒麟がくる」題字を手がける
テープカット
式典参加者内覧
※一般入場開始 11時から

参考：中塚翠涛(なかつかすいとう)

書家。岡山県出身。4歳から書に親しみ、古典的な書法を修得。

筆の弾力と墨の無限のグラデーションに美しさを見出し、和紙と墨のみならず、陶器、ガラス、映像など、幅広い手法で独自の表現を追求。

2016年12月にパリ・ルーブル美術館の地下展示会場「カルーゼル・デュ・ルーブル」で開催された Societe Nationale des Beaux-Arts 2016 では、約300平方メートルの空間に書のインスタレーションを発表し、「金賞」「審査員賞金賞」をダブル受賞。

テレビ朝日系「中居正広の身になる図書館」では「美文字大辞典」の講師として出演。

手がけた題字は、ユネスコ「富士山世界遺産」、映画『武士の献立』など多数。

TBSドラマ「SPEC」では書道監修を務める。